

## 川崎市立看護大学を目指すみなさんへ（学長挨拶）

皆さん、川崎市立看護大学の学長の坂元でございます。本日はオンラインオープンキャンパス、ご覧になっていただき、誠にありがとうございます。川崎市立看護大学はまだできて三年の新しい大学です。それ以前は川崎市立看護短期大学として約 28 年間開学しておりました。本学の歴史、源流は非常に古く 1964 年東京オリンピックの時に、現在の川崎市立川崎病院の敷地内に川崎市立高等看護専門学校として開学し、現在までおよそ 4000 名の卒業生を輩出しており、川崎市はもちろん県内、そして全国的に高い評価を受けている大学であります。

今回、4 年制大学化したことについては、改めまして皆様方にお知らせしているところでございますが、この大学の一つの特徴といたしまして、川崎市直営の大学であります。公立大学というのは、実は 2 種類ありまして、法人格を持った法的には民間の大学と、本学のように自治体が直接経営している大学の 2 種類があります。自治体が直接経営している大学の方が数は少ないのですが、その分、いろいろメリットがあります。川崎市は 156 万の大都市であり、市立病院をはじめ豊富な実習施設、概ね 150 程度の実習施設を皆様方に提供することが可能であります。

また、川崎市の宣伝を少しさせていただきますと川崎市は全国に 20 ある政令指定都市の中で財政指数、つまりその財政力が最も安定して高い政令市であります。そういう川崎市が直接運営している大学ということから、将来性のある大学であると思います。皆さんが入学した暁には、それらの多くの施設を利用して、皆様方が地域に馴染んでいただくとともに、本学のコンセプトであります地域包括ケアシステムに資する人材の育成を目指して皆様方を地域に根ざした医療人として、教育してまいりたいと思います。もちろん、地域に根ざしたと言っても皆様方は今後全国的に活躍されるということも当然、必要なことであると思います。

看護職というのは、非常に視野の広い仕事であります。病院だけではなく在宅ケア、教育現場、産業現場などの非常に広い、いわゆる職域を持った仕事であります。また、最も優れているところは定年がありません。皆様方が健康で元気であれば 70 歳でも 80 歳でも働ける仕事であります。本当に私は素晴らしい仕事であると思います。

最後に現在川崎市立看護大学は川崎市駅前に大学院の整備をしております。早ければ 8 月中に文部科学省の認可を受けられるというふうに思っております。なぜ川崎市駅前かというと、この大学院のコンセプトの一つとして働きながら通える大学院というものを目指しております。駅に近いことによって現在働いている看護師さんが専門の資格や特定行為と呼ばれる資格を取ることができます。さらに、特に働きながら通われる方はお仕事の関係で 2 年間では全ての単位が履修できないことがあります。しかし、本学は 3 年間通うことができます。しかも授業料は 2 年分しかいただかない、働く看護師さんにやさしい大学院を目指しております。もちろん通常の修士、博士という将来看護の教員や研究者を目指すコースも用意しております。

今後、川崎市立看護大学はますます発展していく大学だと思っております。

一日も早く、今日オンラインオープンキャンパスをご覧になっている皆様と本学でお会いして一緒に勉強できる日を楽しみにしております。